



議会だより

2019 **4** No.50

発行/宮崎県美郷町議会
編集/議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

- 議会改革を一步ずつ!.....2~3P
- 第1回臨時会 第1回定例会
議員のひと言コーナー4~7P

- 町政を問う!~第1回定例会一般質問~.....8~11P
- 議会トピックス/編集後記12P

議会だよりはホームページからでもご覧になれます。



鬼神野を中心に
コメ作りの未来を
担います。



大山辰徳さん・夢結さん・侑里さん・愛翔さん
(南郷地区)

地域の特産を使った
お菓子屋で代表をし
ています。地産のきん
かんや栗で町おこし
をしたいですね。



葛城益子さん
(西郷地区)



週に2回
ゲートボールの
練習しています。



廣嶋京子さん・山本カネ子さん・藤本民子さん・春田種子さん
(北郷地区)

情報収集にも
役立っているんですよ。

5月の百済の里春祭りではイベントが
盛りだくさんです。ぜひお越し下さい。



鎌野高明さん・田回英子さん・中嶋清子さん・藤本久次さん
(南郷地区)

西郷シルバー人材の代表です。
まだまだ若いもんには負けん!
仕事の連絡はお早めに。



田村直道さん
(西郷地区)

炭焼きをして15年。



大和久武さん・光さん・恵里子さん
(北郷地区)

この備長炭が
受け継がれるよう
頑張ります。

議会改革を一步ずつ！ 一般質問のその後はどうなっているの？(前編)



議会改革の一環として、過去の一般質問について追跡調査を行いました。
当時の一般質問に対してなされた執行部の答弁が実行されているのか、検討はなされているのかなど議会の監視機能として調査を行いました。

今回は、議席順から5名の議員の追跡調査を掲載します。



山本 文男 議員
(1番)

防災訓練、災害時対応の備蓄等については十分に女性の考えを取り入れなければならない。町防災会議に女性を委員として登用すべきと思うが。

(質問年月日)
平成30年6月11日議会

町は？

【当時の答弁内容】

美郷町男女共同参画条例に従い、女性を確保していきたい。

【現在】

防災会議を開催する時点で、女性の参画により女性の視点での意見を積極的に求めたい。参画時期については、現行の防災計画の見直し(改訂)を平成31年度に予定している。

チェック!!



こういう会議にこそ女性の委員が必要だと思います！

林田 みさ子さん
(北郷地区)



中嶋 奈良雄 議員
(2番)

国道388号線早期改良事業化取り組みについて伺う。

(質問年月日)
平成30年6月11日議会

町は？

【当時の答弁内容】

県は今年度(平成30年度)、宮崎県公共事業評価委員会への諮問をしたい意向。その前の事前評価のための調査費が今年度予算化された。一日も早い公共事業評価委員会のゴーサインが出るよう努力していきたい。ルートはどこを通っても、庭谷まで二車線になるよう要望していく。

【現在】

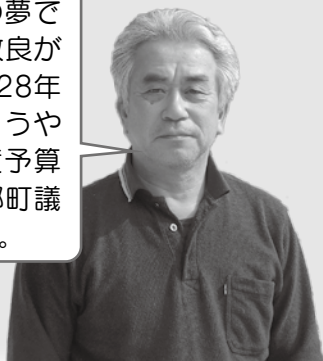
宮崎県公共事業評価委員会(平成30年12月25日開催)において事前評価が行われ松瀬工区として新規に事業着手することが了承された。

チェック!!



北郷地域住民、特に黒木地区住民の夢でありました庭谷～黒木間への国道改良が始まることに喜びを感じています。28年間この道を通勤していますので、ようやくの思いですが、より多くの単年度予算確保で早期完成できますように美郷町議員全員のご支援を強くお願いします。

橋本 幹則さん
(北郷地区)





山田 恭一郎 議員
(3番)

幼稚園の入園資格において、南郷は満5歳児、西郷(田代)は、満3歳から満5歳児、北郷は満4歳から満5歳児ということで、合併以来、教育システムの統一が叫ばれてきたものの、統一されないまま現在に至っている。教育の平等に向けて改善すべきであると思う。その対策について伺う。(質問年月日)平成30年9月5日議会

チェック!!



柄 武彦さん
(北郷地区)

勉強だけではなく地元のお年寄りから昔の暮らしぶりを聞いたり、一緒に野山を散策して昔の遊びを覚えてもらったり、都会では決して味わうことの出来ないこの北郷のロケーションを最大限に活かした教育内容がもう少しあればいいのになあと感じます。

町は?

【当時の答弁内容】

(町長)調整会議で一番どれがいいのかしっかりと見極めた上で、平成30年度内に方向性を出したい。
(教育長)調整会議で3・4・5歳児幼稚園入園年齢について話し合い、幼児教育の意義と幼児保育の重要性を考慮し、協議を行う。来年(平成31年)10月から、幼児教育と保育無償化が始まる予定である。それがどう影響するか、また将来の子ども数を注視しながら協議を進めたい。

【現在】

保育所・幼稚園調整会議を開催して、平成30年12月に結論を得た。2年間の準備期間を設けて、平成33年新学期には、美郷町内の幼稚園全てを、「年中組」「年長組」の2クラス方式に統一する予定。



川村 義幸 議員
(4番)

レイクランド下の芝生広場の遊具の修繕をして子供の遊び場を増やしてそれに付随した温泉利用者を増やせるのではないか。(質問年月日)平成30年3月9日議会

チェック!!



町は?

【当時の答弁内容】

レイクランドの今後の運営をどうしていくのかと言う原点に戻って考えていくべきだと思っている。公園、遊具も総合的に考えたい。

【現在】

企画情報課長他職員2名が国へ事業化について、石峠レイクランド遊具改修に向けた取り組みを相談したが、施設改修のみでは劇的な経営改善は図りにくい。今後も補助事業等を注視しながら関係機関との連携を計っていきたい。

匿名(西郷地区)

「施設の充実も大切ですが、経営者は、しっかりとした経営理念を持ち、従業員は、愛社の心と、今以上に責任と自覚を持ちながら業務に当たればおのずと集客力がアップすると思います。補助金もですが、自助努力を期待しています。」



川村 嘉彦 議員
(5番)

高齢化が進み水稲の防除が十分できなく、米の品質が低下している。今後もますます高齢化は進むと考えられるので、ドローンによる共同防除はできないか。(質問年月日)平成30年9月5日議会

チェック!!



町は?

【当時の答弁内容】

農作業受託組織や集落営農組織など、ドローンによる共同防除体制整備を行い、導入を行う場合は、農作業受託組織支援事業等により機械購入など支援を検討したい。

【現在】

集落協定役員、集落営農組合、認定農業者等を対象に平成30年10月23日、西郷グラウンドにてドローン研修を開催した。ドローンの導入には補助を考えている。



森田 正春さん
(西郷地区)

現状の農業経営も高齢化は進む。真夏(7月~8月)猛暑の中での、共同防除は高齢者にとって大変な作業でもあり、今後は美郷町どこの地域でも将来的には深刻な問題となると思う。高齢者が多い集落の農業経営にとって、空中散布(ドローン等)による防除体制整備事業計画が将来的には必要だと思います。

第1回臨時会

工事請負契約変更の議案を可決

平成31年第1回臨時会が、1月21日に開催されました。

林道宇目・須木線と2級町道黒木・小黒木線の工事請負契約の締結に関する議案が全員賛成で可決されました。

また、美郷町営賃貸住宅条例の一部を改正する条例も上程され、南郷歯科医師住宅を町営賃貸住宅に移管する条例改正が全員賛成で可決されました。

第1回定例会

平成31年度当初予算を可決！

組織再編の議案が可決

「政策推進室」「南郷地域課(南郷支所)」「北郷地域課(北郷支所)」設置

平成31年第1回定例会が、3月4日から15日までの12日間、開催されました。

人権擁護委員の諮問案件のほか、組織再編に関する議案や平成31年度の当初予算、各補正予算等が上程されました。

◎組織再編について

「美郷町役場課設置条例の一部を改正する条例」全員一致で可決

point! 「政策推進室を設置」

美郷町の山積している行政課題に即応した施策を総合的かつ機動的に展開するため、「政策推進室」を設置する条例改正を可決しました。これにより、移住定住対策、6次産業化の促進、ふるさと納税の推進などの施策が積極的に展開されることが望めます。



point! 「南郷地域課」「北郷地域課」を設置

支所の機能を本所に集約し、支所は新たに「南郷地域課」(南郷支所内)「北郷地域課」(北郷支所内)として設置されます。主な業務は①支所管内の行政一般 ②戸籍、住民登録などの窓口業務 ③支所管内の公共施設等の維持管理④各課所管業務の受付、本所への進達 です。

住民へのサービス低下を招かないよう、議会としても支所の機能を注視していきます。

◎消防団の定年引き上げについて

「美郷町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例」全員一致で可決

point! 「人口減少による消防団員減少も要因」

団員減少対策の一つとして定年年齢の引き上げを行う条例案が全員一致で可決されました。

(旧)	(新)
43歳定年	⇒ 45歳定年
(平成31年4月1日～)	

※参考 43歳未満の消防団員(一般団員) 324名

43歳以上の消防団員(2班団員) 136名

(平成30年12月現在)



◎ジビエ解体加工施設の使用料徴収について

「美郷町使用料徴収条例の一部を改正する条例」全員一致で可決

point! 「いよいよジビエ解体加工施設始動」

本年度4月より「ジビエ解体加工施設」が稼働するにあたり、使用料徴収条例改正案が提出され、全員一致で可決されました。

使用料は年間6万円以下です。



◎公の施設条例より若宮神楽伝承館・島戸神楽伝承館を削除
 「美郷町公の施設条例の一部を改正する条例」賛成多数で可決

point! **地域による管理を行っているため、地域に移管**

公の施設とは、「町民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するため設置」している施設のこと
 で、今回は地域によって管理がなされている「若宮神楽伝承館」と「島戸神楽伝承館」を地域に移管
 するための条例改正であり、賛成多数で可決されました。

表決結果は以下の通りです。

議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
氏名	山本 文男	中嶋 奈良雄	山田 恭一郎	川村 義幸	川村 嘉彦	黒田 仁志	富井 裕瑞	森田 久寛	園田 義彦	那須 富重
反対	●							●		

※甲斐秀徳議員は議長であるため表決には加わりません。 ●反対

◎「美郷町債権管理条例」継続審査

「美郷町債権管理条例」は町の債権の適正な管理を目的とした条例で、「督促」や「滞納処分」「徴収
 停止」「債権放棄」等について規定した条例として上程されました。

しかし、町の債権に関わる重要な案件であり、慎重に審議をすべきとの考えから“継続審査”とする
 事になりました。

今後の閉会中の委員会により、慎重に審査を行って参ります。

第3セクター調査特別委員会設置！

3月定例会で、「第3セクター調査特別委員会」を設置しました。

議長を除く全議員で構成され、第3セクターである「株式会社南郷温泉」及び「株
 式会社レイクランド西郷」の経営等に関して調査を行います。経営健全化への具体
 策やスケジュール等を調査していきます。

《請願》林道昇格・整備促進への請願を全員一致で採択



「町道476号「下の谷中八重線」から、大規模林道に通ずる道路（現作業道）の林道昇格及び整備促進を求める請願書」が平成31年1月22日に提出され、3月定例会において審議されました。3月13日には文教産業常任委員で現地を視察。委員会は林道としての機能を十分に果たせることを確認し、議長に採択すべきと報告し、本会議にて全員一致で採択されました。

※議案一覧・議決結果はホームページからもご覧になれます。



一般会計当初予算額 74億3,600万円

西郷地区義務教育学校 プール改修等 1億6,500万円

ケーブルテレビFTTH化(※)関連予算 3億5,640万円

※メモ

FTTH化とは？

家庭用高速データ通信を行うための光ファイバー整備です。安定した通信が可能となります。

平成31年度一般会計・特別会計予算は、予算等審査特別委員会で審議の後、全員一致で可決されました。

一般会計は昨年度（第1号補正）に比べ、1億8,647万円の増（+2.6%）となっています。

昨年度と比較し人件費は4,227万円の減、公債費は3,760万円の減となっており、普通建設事業費は3億6,686万円の増となっています。

（一般会計当初予算における主な計上事業） ※単位は万単位で四捨五入しています。

◆消防費

- 救急救命業務等 1億606万円

◆総務費

- 地域おこし活動費（3名予定） 930万円
- 空家対策支援事業補助金（空家購入・リフォーム） 400万円
- 代替バス運行委託料（北郷地区バス廃止路線代替） 913万円
- ふるさと納税推進 1,217万円
- 省エネルギー設備等更新工事（石峠レイクランド） 2,760万円

◆商工費

- 商工会運営補助金 1,016万円
- 商工会合同商品券補助金（プレミアム商品券） 850万円
- 石峠レイクランド指定管理委託料 4,040万円
- 南郷温泉定管理委託料 3,790万円

◆民生費

- 社会福祉協議会運営関係 5,588万円
- 町内保育所運営事業委託料 1億5,400万円
- 配食サービス事業 1,417万円
- 障害福祉サービス費 1億7,034万円

◆衛生費

- 廃棄物運搬処理費 8,315万円
- がん検診委託料 1,575万円

◆農林水産業費

- 中山間直接支払交付金 8,735万円
- 6次産業化推進事業(※)（基本構想及び実施・行動計画策定） 388万円

※メモ

6次産業とは？

農林業（1次産業）と製造業（2次産業）、小売業（3次産業）を組み合わせた新しい経営形態。

- 町単森林整備事業補助金 3,295万円
- 就農者対策事業補助金 3,175万円
- しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金 1,328万円
- 林道網整備事業（林道舗装・舗装補修） 8,570万円

◆土木費

- 道路新設改良費（過疎対策） 3,716万円
- 通学路対策（防災・安全） 1億1,135万円
- 一般住宅建築支援事業等 3,911万円

◆教育費

- 町内小中学校情報化（ICT）事業 1,650万円
- ニューホープセンター改修事業（中央公民館・図書館複合的施設） 2,800万円



義務教育学校予定地等、現地調査を実施

新年度予算に関する現地を調査しました。義務教育学校の設置が予定されている西郷中学校や南郷地区のジビエ解体加工施設、北郷総合保健センターの改修予定箇所等を調査しました。



- ①義務教育学校として設置予定の西郷中学校。2021年度開校予定。
 ②ジビエ解体加工施設
 ③台風等で雨が降り込んでくるため、新年度で雨戸設置の改修予定の北郷総合保健センター

平成31年度 予算等審査特別委員会の審査報告

【付記事項】 バス・タクシー利用券交付事業については、利用者の住居位置によって、病院や買い物などの必要乗車距離に違いが生じている。年間 10,000 円の助成という条件だけでは、この地域格差は解決できず、利用者への公平な事業になっていない。又、見直しを行っている町内全体の交通システムにおいても、どこに住んでいても公平に利用できる制度への検討を望む。

【口頭による付記事項】

- ①魚族の保護繁殖を目的に、各漁協において、「あゆ」や「やまめ」等の放流を実施しているが、近年のカワウによる漁業被害により、漁獲量の激減がある。早急に具体的なカワウ対策に取り組むことを望む。
 ②休止となった西郷歯科診療所については、歯科医師の確保に努め、早期の再開を望む。

議員のひと言コーナー

みんな笑顔で暮らせる町 美郷町 黒田仁志 議員



“山に生まれて、山に生き 木立に負けずすくすくと”林研グループの歌の冒頭です。山多きこの地に生まれ生きていくよろこび、みんなで実感しながら生活できる。美郷町がそんな町であり続けられるように、頑張っていきたいと思えます。雨二モ負ケズ、風二モ負ケズ雪二モ夏ノ暑サ二モ負ケズ、花粉症二モ負ケズ、みんな笑顔で暮らせる町、そういう美郷町が理想です。

増える耕作放棄地

川村義幸 議員



荒れゆく田畑、美郷町の農業はどうなるのだろう。人口の減少、高齢化も心配だが、耕作放棄で荒れゆく田畑も心配である。手間暇かけて獣害対策の柵はしたが、柵の中でも耕作放棄が目につくこの頃である。村の中心でも目立つようになった耕作放棄地、早く手を打たなければ高齢化と共に増えるばかりである。

心配だ。美郷町の荒れゆく田畑、なんとかしたい。良い案はないだろうかかと悩む毎日である。

議会とは…

森田久寛 議員



議員活動4期目になりました。その前は主にJAの役員や組織活動をしていました。それまでの活動が議員活動の礎になっているような気がします。住民から議会はどのような仕事をしているのかと質問されます。議会は自治体が提案した事項について、議決権があるし、行政へのチェック機能もしなければならぬ重職ですと答えています。これからも町民が安心して生活できる町作りの為に全力を注ぐ覚悟で頑張ります。

町政を問う

一般質問

平成31年第1回定例会の一般質問は、3月5日、6日の2日間の日程で行われ、6名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次の通りです。

また、平成30年第4回定例会分より本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧できるようになりました！一般質問もすべて見るができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に2ヶ月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略について



黒田 仁志 議員

【問】美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略(注①)について、町長就任1年を経過し、また、現戦略が31年度で終了し、平成32年度以降の次期戦略の策定が予定されているが、内容を見直していく考えはあるか伺う。

【町長】計画全体の検証を行い文言整理とKPI(注②)の変更を含めて必要な改定を実施したい。

注① 美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

・人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるため、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むための戦略。美郷町では2040年の総人口約3,600人の維持を目指している。

※国立社会保障・人口問題研究所推計人口 3,173人

注② KPI

・「重要業績評価指標」という意味で目標を達成する上で、その達成度合いを計測・監視するための定量的な指標のこと。

【問】これまでの成果をどのようにとらえているか伺う。

【町長】ある程度の施策展開ができていると評価する。

【問】本町の方向性について独特の取り組み目標を盛り込むべきと考えるがいかがか。

【町長】懇話会の委員から出た意見を参考に行政の視点だけではなく、住民目線でよいと思われるものは取り入れていきたい。

【美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略における実績】

※目標達成年度は平成31年度で実績は平成29年度のもの

基本目標① 安心な「仕事」づくり

(目標) 新規農林就業者数 15名
(実績) 新規農林就業者数 30名
(うち 農業1名 林業29名)

基本目標② 安心な「住まい」づくり

(目標) 単身者住宅への移住者入居数12人

新築住宅数 20件

空家への入居数 8件

(実績)

単身者住宅への移住者入居数0人

新築住宅数 9件

空家への入居数 6件

基本目標③ 安心な「暮らし」づくり

(目標)

社会減少数(転入者―転出者)

△40人

移住者数 50人

(実績)

社会減少数(転入者―転出者)

H27:△44 H28:△38

H29:△26

移住者数:40人(H27～H29)

基本目標④ 安心な「結婚・子育て」支援

(目標)

出生数 140人

20歳代から40歳代の既婚率60%

(実績)

H27～H29 出生数75人

20歳代から40歳代の既婚率59%

3%(H27国調値)

組織再編について



富井 裕瑞 議員

【問】新年度から、組織再編により新設される（課・室）計画がある。北郷・南郷地域の対応は万全か伺う。

【町長】説明会で説明した通り、職員減・財政難等を考慮し、再編を行う。必要に応じ検証を行い見直しする。

【問】支所の空きスペースの活用について伺う。

【町長】地域住民と協議を行い計画する。

タブレット（注③） 機器導入について

【問】全国の自治体では、ICT（情報通信技術）（注④）とタブレットの導入が広がっている。本町も導入により情報のスピード化と職員の働き方改革を推進して、ペーパーレス化やテレワーク化（注

⑤）で、より有効で幅広い時間活用が出来ると考える。導入できるか伺う。

【町長】議会先行で導入し、時間をおいて、職員への配備は前向きに考えたい。

注③ タブレット

・本体と液晶画面が一体の薄い板状になっていて、画面を直接タッチして操作する情報機器。

注④ ICT（情報通信技術）

・パソコン、スマートフォンなど様々な形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

注⑤ テレワーク

・インターネットなどの情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。自宅やサテライトオフィス等で働く形態がある。

TPP11（注⑥）・EPA（注⑦）対策について

【問】二つの大型の貿易協定が相次いで動き出し、日本農業は、かつてない市場開放に直面する事となる。その対策について伺う。

【町長】国策であるが、中山間地域の農業を守っていききたい。

注⑥ TPP11

・環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定のこと。アジア太平洋地域においてモノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引、国有企業の規律など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定です。（内閣官房TPP等政府対策本部ホームページより）

注⑦ EPA

・貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定（外務省ホームページより）

介護施設について

【問】町内の介護施設は、常に満床状態の為、入所希望者の慢性的な待機状態がある。加えて職員不足から、労働環境改善が急務であり、施設の増設改修も求められている。近隣町村との連携により空き施設用地等に新設出来ないか伺う。

【町長】財政状況を考慮し、検討したい。

町道・林道の点検・補修について



山本 文男 議員

【問】林業は材価の安定で好調を維持している。雇用を生み、町の経済にも大きく貢献している。反面、木材の搬送により路肩のひび割れ等傷みもはげしいものがある。台風とかの自然災害でなく、日々の経済活動で生じる道路の損傷にどう対応しているか伺う。

【町長】林道は産業として使用するものなので、ある程度の損傷はやむを得ないと思っ
ている。町道は生活道として支障があれば随時補修していく。毎年、道路の維持管理に2億円つぎ込んでいる。



痛みの激しい林道

【問】機構再編を機に、町道・林道の見回り点検を職員に当たらずべきと考えるが何う。

【町長】職員が庁外に出ていく、そういう方向でいきたい。

西の正倉院・百済の館の通年開館について



【問】西の正倉院がオープンした平成8年度の入館者は61,635人だったが、平成28年度は3,953人という現状である。資料によると入館者数が一桁という日が圧倒的に多い。少ない入館者数にも関わらず通年、365日開館している。せめて南郷温泉の休館日にあわせて2つの施設も休館にすべきと考えるが何う。

【町長】本年4月から温泉の休館日に合わせて休館する方向で調整している。周知徹底していく。

日本救急システム(株)の業務委託について



森田 久寛 議員

【問】日本救急システムの業務状況について何う。

【町長】救急出動実績では、平成27年度が268件、平成28年度が304件、平成29年度が317件と年々増加している。功を奏した症例としては、窒息した傷病者を救命し意識回復した事例などがある。ドクヘリの要請件数も年々増加しており、今年度16件となっている。

【問】町内全域への出動状況について。

【町長】町内全域に出動できる体制を整えてはいるが、西郷山三ヶ地区の鳥の巣地区、中区全域、上区全域においては、諸塚村より救急車が出動する体制を取っている。諸塚村で対応できない場合、早く

治療を開始できるよう、ドクヘリ、防災ヘリの要請を実施している。

【問】防災ヘリ・ドクターヘリの離着陸の場所について何う。

【総務課長】ヘリポートについては、広さについての安全確保の条件があり、またフェンス、立木、電線等も考慮しなければならぬ。また、地域バランスも考慮して配置している。



防災ヘリとの合同訓練の様子

【問】日本救急システム株式会社からの、要望、課題はないか何う。

【町長】1点目は年齢上昇に準じた

委託金のベースアップの検討についての要望、2点目は、本町ケーブルテレビ、きららびじょんと提携し、応急処置や、心肺蘇生法、その他疾病予防に関する番組等を制作し普及啓蒙を行いたいとの要望をいただいている。

美郷米のブランド化について



中嶋 奈良雄 議員

【問】美郷米の商品価値と生産者の収益を向上させるためブランド化はできないか何う。

【町長】美郷産米ですよというPRをしっかりとしていくことがブランド化につながる。農家さんにも一円でも高く収入があるように、しっかりと努力して考えていかなければいけない。価格の面でどう売っていくかという話は今まで真剣にしてきたことはない。町だけでなく、関係機関、農協、森林組合、

商工会が、ひとつの目標に向かって動くという部分で、ブランド化の考え方を入れる方向で検討したい。

美郷北学園テニスコートの移設工事について



山田 恭一郎 議員

【問】美郷北学園小学校校舎を建設するにあたり、移設前提で撤去された照明施設付きテニスコートの移設工事が、未だ完了していない。早急に完成すべきではないか何う。

【教育長】夜にテニスコートの照明について調査をいたしたところ、社会教育施設として改善が必要と認識した。

【町長】早いうちに照明工事をし、テニスコートの工事を完結したい。



テニスコート片面のみの照明

耕作放棄地の増加について



川村 義幸 議員

【問】町内で耕作放棄、遊休地が目だってきた。人手不足、人材不足をおぎなうために農業を生きがいとしてやっていきたい人を町外から募集するとか、田のオーナー制

度を設けて地元の人が応援してあげる等もある。又、外国人労働者を迎え入れもひとつの手ではないかと思うが、今後どのような対策を持っているのかお聞きしたい。

【町長】耕作放棄地が増加しているのは中山間地がかかえる問題である。外国人材の受け入れは有用であり、県の関係機関と連携しながら受け入れを検討する。田のオーナー制度は、有名人にオーナーになってもらうと非常に難しい。担い手、後継者をしっかりとした対策の中でバックアップしたい。

次回定例会のご案内



3月定例会のようす。期間中の傍聴者は19名でした。

定例会会期日程、一般質問通告一覧を町ホームページに掲載（※定例会開会日の概ね1週間前）しておりますので、ご覧ください。

傍聴席へ
どうぞ!! 次の定例会は、**6月7日(金)開会**予定です。

宮崎県美郷町

検索

傍聴は先着順となります。また、傍聴席には限りがありますので、団体で傍聴される場合は、事前にご連絡ください。

お問い合わせは議会事務局へ(電話66-3607)

議会トピックス



ICT活用 住民へ情報提供を！

～総務厚生常任委員会視察～



1. 調査日 平成31年1月22日(火)～23日(水)
2. 調査場所 福岡県福岡市 (ICTセミナー福岡)

ポイント！

- 宮崎県では日南市議会と五ヶ瀬町議会が導入
- 導入形態:議会先行が60%
執行部との連携導入が35%

- ペーパーレス化や業務の効率化、業務に関わる人件費、時間コスト等を考慮すると導入効果は大きい。
- 導入にあたっては紛失時の対応や禁止事項を定める使用規程などの整備も必要。

※美郷町議会では平成31年度に議会先行型でタブレットを導入します。



移住定住の 取り組みについて調査

～文教産業常任委員会視察～



1. 調査日 平成31年2月14日(木)～15日(金)
2. 調査場所 熊本県天草市

ポイント！

- 平成20年から移住政策に取り組み、10年間で233世帯、469人が移住。
- 特に60歳未満の移住者が約7割で、20～39歳が最も多い。

- 空き家等情報バンク、定住促進奨励金などの支援制度が充実。お試し滞在施設も活用。
- 起業創業資金支援事業により移住して起業する環境づくりも整備。
- 2名の移住・定住コーディネーター（地域おこし協力隊）を配置し、充実した相談支援も実施している。

広報モニターに引き続き3名を委嘱

昨年度に引き続き、広報モニター3名に留任いただき、委嘱状を交付しました。広報モニターの任期は来年3月までです。モニターの方からの貴重な意見を反映し、住民の方により親しまれる議会だよりを目指します。

甲斐 糸波 氏（南郷地区）／長友 一政 氏（西郷地区）／奥井 博貴 氏（北郷地区）

編集後記

この号が配付される頃は新しい元号が公表され、役場組織も新しい体制で動き出していることだと思えます。

「議会だより」の企画・編集が少し変わったことにお気づきでしょうか。

広報モニターの方々の提案を受けて住民の立場に立った編集で、手にとって読んでみたくなる「議会だより」を目指しているところです。

議会活動をわかりやすくお伝えできるよう紙面作りに努めて参ります。

山本 文男

(編集)

美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部長……園田 義彦

副部長……中嶋 奈良雄

委員……山本 文男

黒田 仁志

那須 富重

オブザーバー

甲斐 秀徳

〓〓ご意見をお寄せください〓〓